

## チャレンジする子どもたち 全国・県レベルで活躍!



【優良賞 5年 浦山 さん】

←福島県読書感想画コンクール  
しきなみ→子供短歌コンクール



【佳作 6年 君島 さん】

1月22日(金)嬉しい知らせが2件ありました。福島県読書感想画コンクールで5年 浦山夏美さんが「優良賞」、しきなみ子供短歌コンクールで6年 君島陽哉さんが「佳作」を受賞しました。浦山さんの作品は昔話「かちかち山」の印象的だった場面をローラーや炎に見えるよう赤・黄色を用い強い筆のタッチで表現しました。惜しくも全国出点11点(優秀賞)には及びませんでした。県レベルで上位入賞を収めました。(本校より4点応募)また、君島さんの短歌「ポップコーン はじけてポッポはとポッポ 次々ポコポコふくらんでくる」は、擬音の繰り返しによりリズムと明るい滑稽さを感じられる作品です。全国から約65000名の応募がある大きなコンクールですが、福島県では特選・入選は該当者がなく、「佳作」受賞が3名だけでした。(本校より90名応募)このように児童が県・全国レベルで活躍することは、他の子ども達の大きな励みとなりますし、教育目標「夢や希望を持ちチャレンジする子ども」を体現してくれていること、教職員一同とても誇らしく感じているところです。

## 「紙漉き体験」で物づくりを学ぶ



1月21日(木)、1年生は校長室で「紙漉き」を行いました。くず洋紙を煮てミキサーで攪拌したドロドロの材料を漉き枠に入れて、繊維を平らにします。次に、板に貼り付け、その後スポンジやローラーで余分な水分を抜きます。人類の叡智・進歩を迫体験しました。ハガキができて上がるのが楽しみです。

●「紙」⇒今から1900年前の中国で蔡倫という人がハチの巣づくりをヒントに発明したと言われています。それがアラビアに伝わり、やがてヨーロッパに伝わっていきました。材料はいろいろありますが、紙は「植物などの繊維を絡ませながら薄く平らに成形したもの」と定義できます。



## インフルエンザ流行のまじし

冬休み明けから、インフルエンザ罹患により出席停止になった児童がのべ4名、1日平均1～2名となっています。一般のかぜと比べて感染力が強く重症化しやすい疾患ですので、予防のための対策を家庭でも心がけていただきたいと思います。学校では休み時間に手洗い・お茶うがいを実施しています。

### ～ 予 防 法 ～

- ① しっかり手洗い
- ② 疲れをためない規則正しい生活  
(過労やストレスは免疫力を低下させます)
- ③ 外出から帰ったら、こまめなうがい  
(大勢の人が触れる物や場所は危険です)
- ④ 毎日、清潔なハンカチを持たせてください。

## 1月末～2月の行事予定

月	日	曜	校 内 行 事 等
1	26	火	学力調査 算数(全) 理科(6年)
	27	水	学活4年(性に関する指導) 定着シート国 ALT来校1・2・5・6年
	28	木	定着シート算 鼓笛練習⑤
	29	金	お話を聞く会 教育課程編成会⑥
	2	1	月
2		火	なわとび記録会3・4年 歯みがきチェック5年
3		水	節分集会 鼓笛練習⑥ 歯みがきチェック4年
4		木	なわとび記録会1・2年 歯みがきチェック3年 新聞作り出前講座4～6年
5		金	お話を聞く会 なわとび記録会5・6年 歯みがきチェック2年
8		月	歯みがきチェック1年 通学班編成 校内漢字計算週間～10日
9		火	なわとびみんなでジャンプ(長縄)
10		水	鼓笛練習⑦ ALT来校4・3・6・5年
11		木	● 建国記念の日
12		金	新入生一日入学 教育計画検討①
15		月	教育計画検討②
16		火	心の教室相談員勤務日
17		水	貯金日1～3年 職業体験6年 見学学習3年 鼓笛練習⑧ PTA 監査合同委員会 見守り隊監査会・役員会
18		木	貯金日4・5年 4校時弁当日
19		金	街頭指導 朝の読み聞かせ(低・中)
22		月	教育計画検討③
23		火	定着シート国 そばうち体験6年～26日(未定)
24	水	定着シート算 ALT来校2・3・4・6年 児童会委員会	
25	木	定着シート理 鼓笛練習⑨	
26	金	全校朝会 定着シート社 学校評議員会③	
29	月	上学年計算テスト週間	

※現在の予定ですので変更する場合があります。

## 田村市立志式 1/13

1月13日(水)田村市文化センターで田村市立志式が開催されました。日本の伝統的な立志の節目にあたる中学校2年生が対象です。「一社会人としての生き方・在り方の自覚を深めさせるとともに、将来の自分を見据えて、進路実現・自己実現に向け揺るぎない努力をしようとする志を確立させる」ことが目的です。全市の中学2年生は皆立派な態度で参加し厳粛な式典となりました。記念講演は音楽療法士 近藤美智子先生による「夢を持って生きる」の演題で音楽療法との出会い、障がい児・者、高齢者、脳梗塞等の患者に対する音楽療法をほどこしてきた経験や福祉医療・震災被害者等との交流の経験から紡がれた珠玉の言葉で「生きる」ことについて熱く語りかけました。

立志式の要項に掲載されていた、故事成語、古今名言を紹介します。

「志ある者は事竟に成る」(こころざしあるものは ことついに成る)

～後漢書～

「稚心を去る」(ちしんをさる)

～橋本左内 啓発録～

6年生は2年後には立志式に臨むことを見据え小学校6年間での「知・徳・体」の育成とキャリア教育、日本の伝統文化に関する学習等を大切にする必要性を改めて感じました。

